| | I | 評価計画 | $\overline{}$ | - | | | | カケ 中へ の 功 差 生 | 学校関係者評価 | |
|----------------|---|--|---------------------------------|-----------|----------|----------|---|--|---------|--|
| 令和2年度 重点目標 | 具体的目標 | 具体的取組事項 | 評価指標 | 生徒アンアンケート | 保護者アンケート | 教職員アンケート | 取り組み状況と課題 | 次年度への改善策 | 評価 | 意見 |
| 授業や検定試験対策の充実 | ①わかりやすい授業を展開して、生徒の基礎学力を向上させたか。 ②検定試験対策を適切に実施し、効果を上げたか。 | 学び直し教材を有効活用 ・家庭学習定着のための適切な課題や宿題の奨励 ・各種小テストでの基礎学力の向上 ・家庭学習時間調査の確実な実施 ・授業時数の確保と理解不十分な生徒への適切な支援 ・検定の個別受験時の計画的な支援体制の確立 ・高度資格取得への支援体制 | 評価アンケート家庭学習時間調査 | А | В | В | ・10T機器やタブレットの活用を各教料で推進し、生徒の主体的な学習を支援した。 ・教科主任会等での振り返りができなかった。 ・検定対策期間や平日補習、土曜日の学習会などの取り組みで、検定の合格率は上昇傾向である。 | 識のある生徒に対して、授業中や試験前の支援を更に充実していく。 ・授業公開の方法を改善し、中学校や地域へ もアピールできる新教育課程編成に着手す | | ・寮がないので、市からは補もがあるようとのです。 でも政とは、市ることを組んではないのでは、のでは議所では、のもないはないはないのではないがではないができないができないができないがあるといる。まに、まにいきたくない。このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 |
| 主体的に行動できる生徒の育成 | ①教育の様々な場面を活用して、生徒の主体的な行動を 引き出すことができたか。 | ・授業互見や授業アンケートにより、わかりやすい授業への改善 ・生徒会の主体的活動への支援 ・部活動に対する意識の向上と支援 ・定期的な身だしなみ指導 ・日常的な出会い指導 | 評価アンケート 出席率 皆動率 部活動加入率 | А | А | В | ように支援した。 ・これからも学校行事、生徒会活動、 部活動の支援に全教職員で取り組む。 ・学園祭等の活気がないこと。 | ・生徒会が自主的、積極的に呼びかけができるように支援したい。 ・コロナ禍を想定し、学園祭等の活性化を図る。部活動活性化の為、結果報告など工夫する。 ・生徒会も挨拶運動などに主体的にかかわるように取り組む。 | _ | 一人ひとりの生徒を大事にしい。 ・生徒募集については、商としての魅力化を図れるより組みを継続し、地域の住業所してといる。 ・ホームページを含めた情 |
| 生徒の人権意識の高揚 | ①人権・同和教育を充実させ、人権意識を高めることが できたか。 | ・生徒意識調査を活用しての実態把握・人権・同和教育LHRの充実 ・差別に対する実践的態度の育成 ・アンケートQUやいじめアンケートの活用 ・全教職員による登校指導 | 評価アンケート意識調査 | А | В | В | ・教職員の共通理解のもと、互いの人権意議を育成できるように努めた。 人権意議を育成教育学の出限に対する情報提供をすることができた。 ・意識認しませ徒・保護社委員会を開いて対応した。 ・意識調査の集計に時間がかかり、事後指導への反映が課題である。 | ・人権、同和教育学習のLHRの教材の研究、 情報収集および人権・同和教育推進委員会の | | - を積極的に取り組んるがにに話いる情極々な活動が、統にに動いが、新したでは、下したに記すいいでは、下したに思うでは、下したに思うでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 |
| 進路実現の支援 | ①生徒面談等を通して生徒 理解や個に応じた進路支援に 努めているか。 | ・補習、各種模試、小論文指導、面接指導の効果的な実施 ・ハローワーク、支援センター、行政機関、就労・進学先等との連携 ・進路志望調査に基づく企業訪問、求人開拓、学校訪問の推進 ・進路集会、講演会、各種ガイダンスなど適切な情報提供の機会を設ける ・定期的な生徒面談、保護者面談の実施 | 評価アンケート | А | А | В | ・マナトレや補習等により、1年次より学力が向上した。目標を持った生徒の成績が国語、数学、英語でかなり上する結果が出た。・3年生は、100%の進路保障することができた。・キャリアパスポートの有効活用が課題である。 | ・生徒本人の志望、適性に応じた進路決定が できるよう支援するという意識で進路指導を 行う。 ・・半路や道知も中心にを労佐知り連携した。 | A | ストリースのは、 はい。 はい。 が目指したなりのでもれたでいる。 がはたけれたでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 |
| 積極的な情報発信 | ①ホームページを充実させ ることができたか。 | ・ホームページのリニューアル ・地域で個別に学校説明会 ・PTA会誌の充実を図る ・部活動交流など日頃からの交流と情報交換 ・Webページによる情報発信 ・「浜商トピックス」の作成・中学校配布(浜田市、江津市) ・生徒募集に繋がる魅力化事業の一環として、浜田市役所や県大との連携・交流 | 評価アンケート | А | В | В | 護者、教職員から好評を得ることができた。 ・PTA会誌の充実や浜商トピックスなど分掌を横断して取り組むことができた。 ・生徒募集に関わることを教務部、総務部、商業部等と協働して取り組むことができた。 | ・生徒募集の強化を分掌や外部と連携を取り ながら、進めていく。 | | いけいない。いくでは、 いけいない。いくでは、 いけい祭りとでは、 でいい祭かり、 でいのでのでいる。 でいのでのの引き、 でいれてでは、 でいいでのの引き、 でいいでのの引き、 でいいでの引き、 でいいでの引き、 でいいでは、 でいいでの引き、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでが、 にただいと、 でいいで、 でいいでは、 でいながは、 でいなが |
| 安全指導と危機管理 | ①適切な安全指導や危機管 理を行うことができたか。 | ・防災避難訓練の実施 ・安全点検の実施 ・教急法研修の実施 ・保健だよりの発行 ・スクールカウンセラーの活用 ・生徒サポート委員会の充実 ・ゴミの減量化 | 評価アンケート | А | В | В | 難経路を確認、災害による避難場所の 確認、防災講話等により危機管理意識 を高めるよう努め、成果もあった。 | ・危険個所の把握と修繕への迅速な対応、危機の未然防止策の推進に努める今後も、健康 観察や健康情報の発信により、疾病やけがの 予防に努める。 ・諸会議をさらに活性化し、要支援生徒の実 | | 「一ば、発イ徒ピ要ィ業連の人」としている。 「一切いでする校組のでは、 一切いでする校別ののがです。 一切いでする校別ののがができないです。 一切いでするです。 一切いでするです。 一切いでするがです。 一切いでするができない。 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとがデたのとが、 一でするでする。 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとが、 では、発イ徒ピ要ィ業連ののであるが、 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとが、 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとが、 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとが、 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとが、 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとが、 では、発イ徒ピ要ィ業連ののとが、 では、発行によるが、 では、発行によるが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では |
| キャリア教育の推進 | ①キャリア教育について理解を深め、その視点に立った 指導を展開してきたか。 | ・地域行事への積極的参加 ・浜商デパート等の販売実習の充実 ・課題研究の充実 ・地元企業・行政との連携 ・各学年部と連携し、3年間を見通したつながりのある計画へと導く | 評価アンケート | А | А | В | 等、各学年会のご協力によりスムーズ に実施できた。 ・デパートにおける各教科横断的な学 | | | 通や校内体制を構築し、教 を校内に閉じずに取り組み |
| | | ・浜商デパート学びのマップ作成(各教科内容との関連付け) | | | | | | | | |